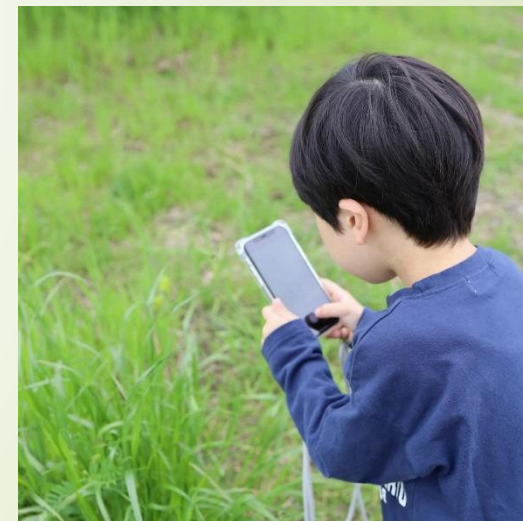


～多摩市市民参加型生きものの調査～ 「多摩市生きものの調査隊」 調査結果概要

- 令和6年4月27日に「多摩市生きものの調査隊」を結成
- 国際的なオンラインサービス iNaturalist（アイ・ナチュラリスト）を活用して調査を開始

※iNaturalist（アイ・ナチュラリスト）とは

- ・国際的な生きもののオンラインサービス。
- ・登録すれば市民だれでも無料で参加ができる。
- ・スマートフォンなどで撮影し投稿することで、いつ・どこで・何を観察したかを記録でき、AIや世界中のユーザーにより種も特定してもらえる。
- ・多摩市の生きものの情報が更新されるとともに、国際的なデータベースにも保存される。

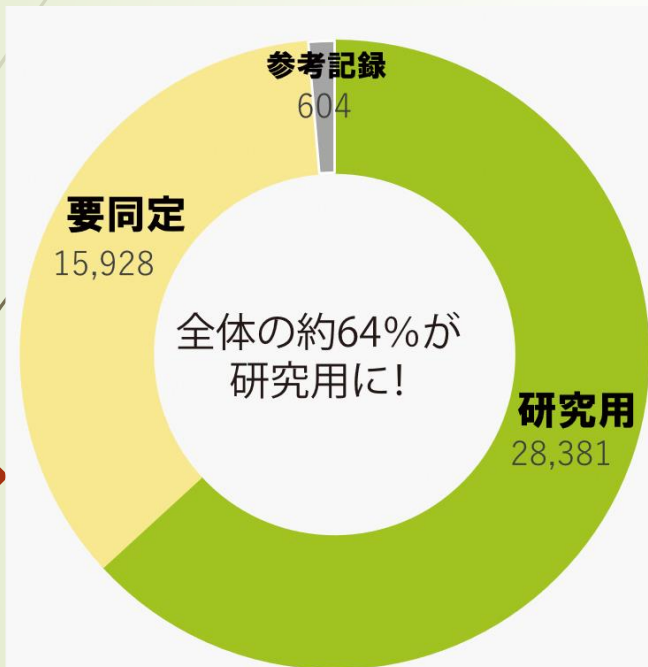


(1) 調査概要

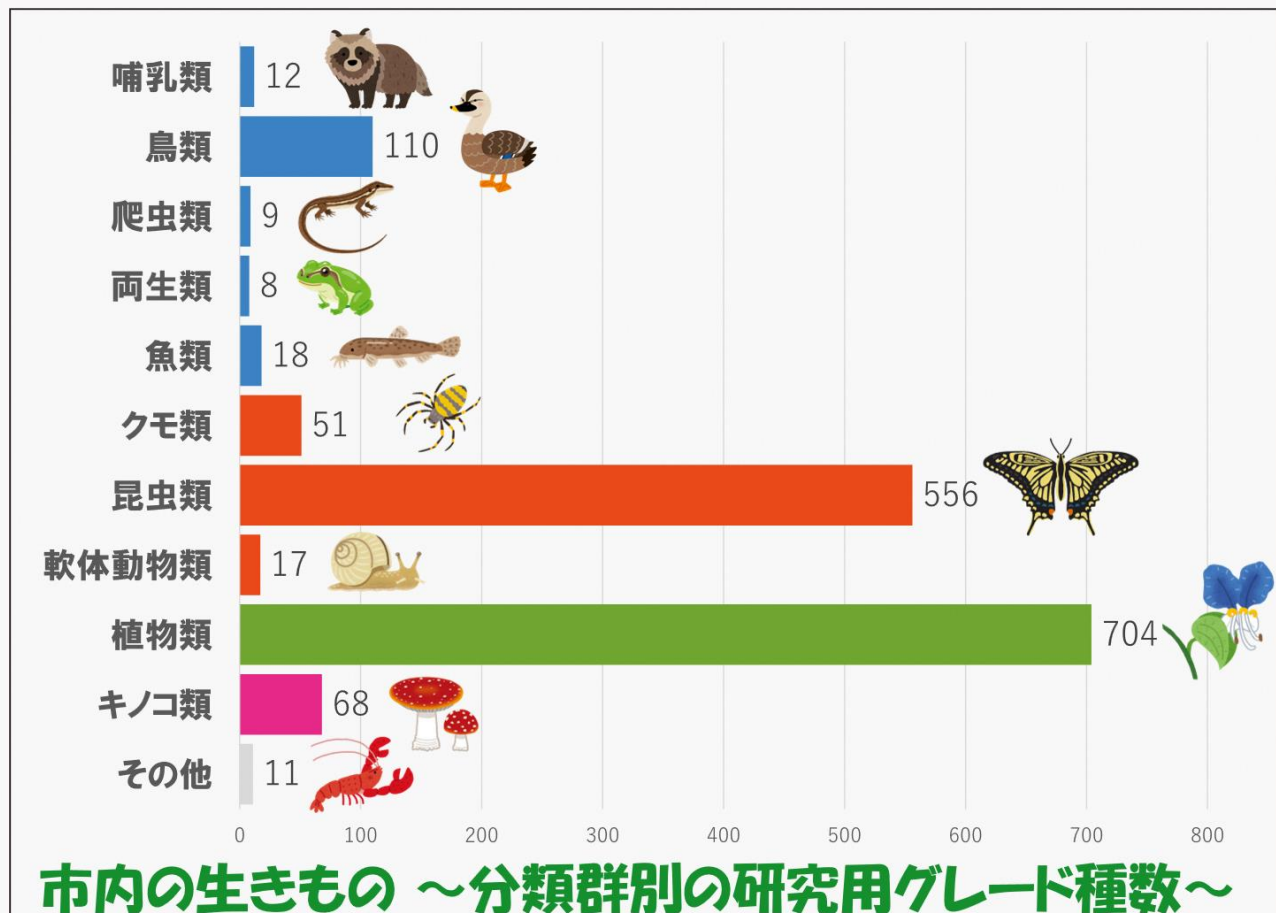
1. 調査地域 多摩市内全域
2. 調査期間 2024年4月1日～2025年3月31日
3. 調査対象 ①哺乳類、②鳥類、③両生類・爬虫類、④魚類、
⑤昆虫類、⑥クモ類、⑦その他の無脊椎動物、
⑧植物、⑨菌類
4. 調査受託 NPO東京生物多様性センター
5. 調査方法
 - ・ 市民調査員が主体となって行う市民参加型で実施
 - ・ iNaturalistを活用し、市民調査隊員が調査対象の生きものをスマートフォンやデジカメで撮影し投稿
 - ・ 投稿する情報は、生物の種名、確認日時、確認場所、写真データ
6. 重点調査地区 ①原峰公園、②鶴牧西公園、③なな山緑地、④連光寺・若葉台里山保全地域、⑤桜ヶ丘公園、⑥多摩川

(2) 投稿状況等 (令和7年3月19日現在)

1. 調査隊員数 104人
2. 観察記録数 44,913件
3. 観察種数 1,564種 (研究用グレードのみ)
4. 同定者数 1,045人 (世界中のユーザー)

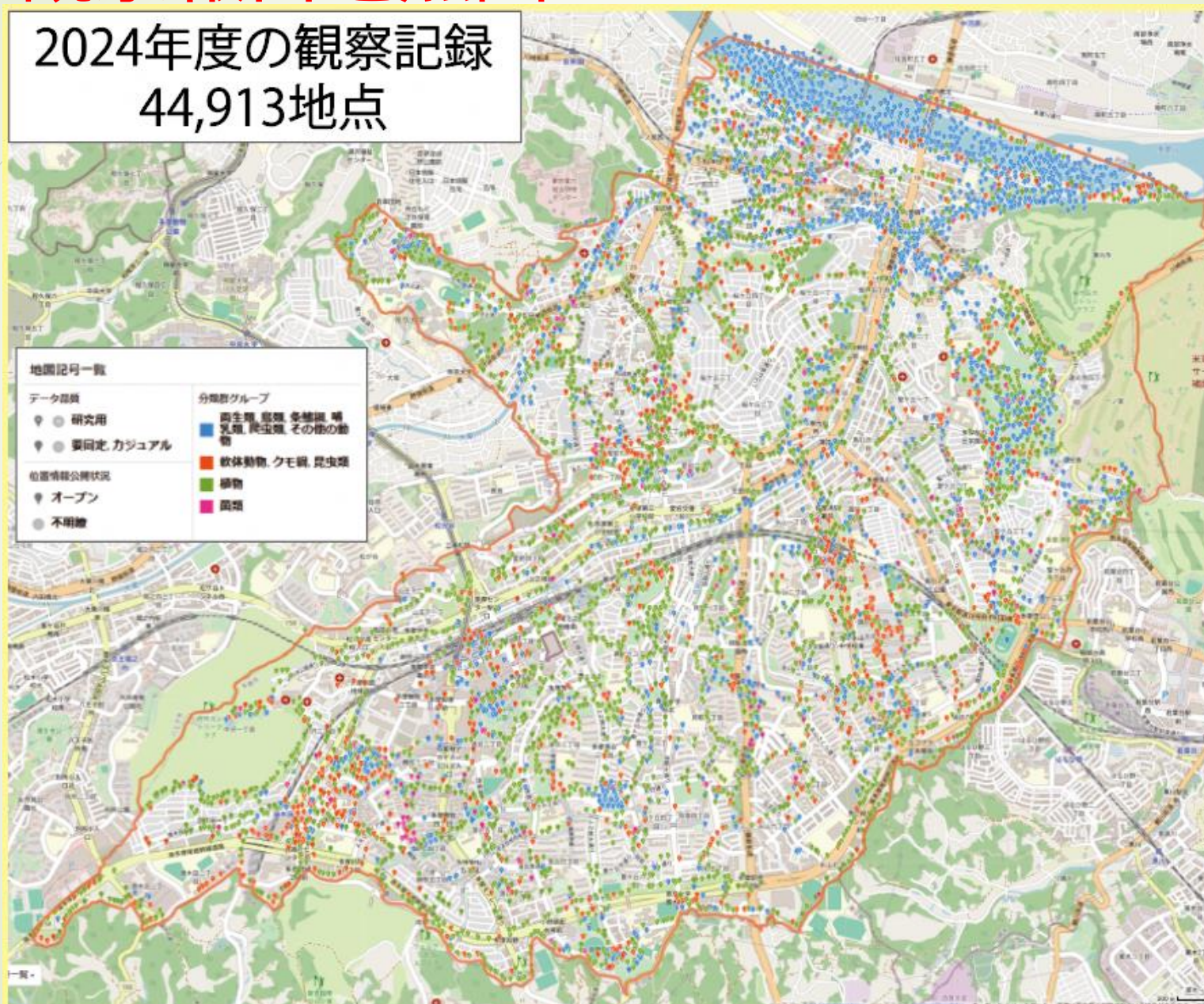


- ◆同定とは生きものの種名を特定することです。
- ◆研究用とは複数のユーザーにより同定され一定の基準を満たした観察記録です。
- ◆要同定とはまだ同定されていない観察記録です。
- ◆参考記録は写真がない記録や園芸植物などの観察記録です。



観察報告地点図

2024年度の観察記録
44,913地点



(3) 調査結果の概要 (観察種数1,564種 ※研究用グレードのみ)

1. 重要種について(レッドリスト記載種103種)
2. 外来種の確認 (特定外来生物13種・ハイイログケゴモは多摩市初記録)
3. 気候変動による影響確認

1. 重要種について

6

重要種のうち特に絶滅のおそれの高い生きもの



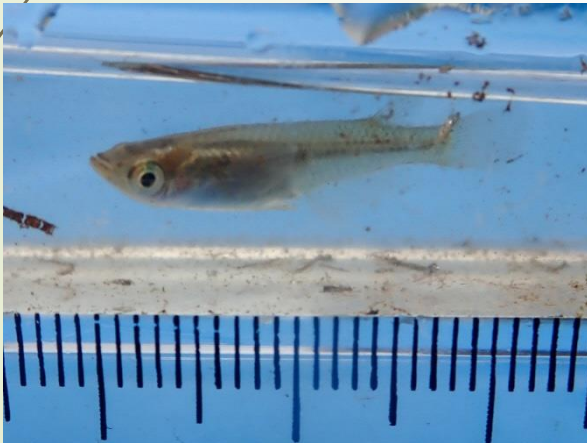
コウノトリ（国RL 絶滅危惧1A類）



ヒクイナ（都RL 絶滅危惧1A類）



ニホンスッポン（都RL 絶滅危惧種）



ミナミメダカ（都RL 絶滅危惧1A類）



ツマグロキチョウ（都RL 絶滅危惧1A類）



カワラノギク（都RL 絶滅種）

2. 外来種の確認

7

特定外来生物



ガビチョウ



アカミミガメ



アライグマ



アレチウリ



オオキンケイギク



アカボシゴマダラ大陸亜種



オオカワヂシャ



アメリカザリガニ



オオフサモ



ソウシチョウ



ハイイロゴケグモ
多摩市初記録



ウシガエル



コクチバス

3. 気候変動による影響確認

8

気候変動（温暖化）で北上してきた生きもの （代表的なもの）

タイワンウチワヤンマ



多摩市
初記録



2024年7月に多摩市で初めて確認されました。
南方系の種で、温暖化が一因で北上しています。
東京では2012年に立川市で最初に発見されました。その
後、昭島市、三鷹市、大田区などで確認されています。
今のところ昭和記念公園が北限とされています。

参考文献：喜多編著・須田監修（2021）東京都のトンボ

クロマダラソテツシジミ



多摩市
初記録



2024年11月に多摩市で初めて確認されました。
ソテツの新芽を求めて放浪の旅をする熱帯アジアのシジミ
チョウで、2000年代後半には北上して九州や関西で発生
が確認され、2009年に東京都に到達。都区部での確認が
多く多摩では少ないようです。

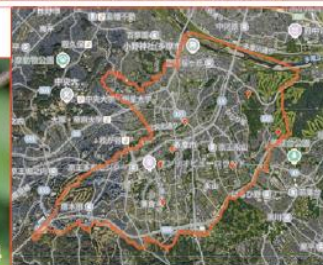
参考文献：西多摩昆虫同好会編（2012）新版東京都の蝶

ヨツモンカメ/コハムシ



多摩市では2021年から記録があります。今は、サツマイモ
やアサガオ類などの葉の上に普通に見られます。
本来、沖縄以南に生息するハムシで、2000年に九州で、
2008年に静岡で、東京都では2018年に町田市で初めて
確認されました。サツマイモなどを食害する害虫です。

ホソミイトトンボ



多摩市ではしばしば出会うトンボです。水辺から離れた
林内でも観察されます。
2003年頃から東京周辺でもよく確認されるようになりました。
ここ20年ぐらいで分布の拡大や北上がみられます。

参考文献：喜多編著・須田監修（2021）東京都のトンボ

令和7年度の取組

■ 電子版リーフレット作成

令和6年度に行った市民参加型の生きもの調査結果を活動レポートとして取りまとめ電子版リーフレットを作成する。

■ 観察会&報告会

調査業務は令和6年度で終了するが、7年度以降も「多摩市生きもの調査隊」プロジェクトは、iNaturalist上で継続されていく。そのため、引き続き、生きもの調査隊の認知度を高め、新規会員を増やすため、観察会&報告会を開催する。

■ 今後の活用の方向性

多摩市の生きものデータバンクとして蓄積を継続し、水とみどりの保全のための基礎資料として活用していくとともに、気候変動の進行の指標や行動変容の促しなどにも活用ができないか検討していく。

